

2019年11月1日  
イオンタウン株式会社  
イオンマーケット株式会社

## イオンタウン稲城長沼

11月17日(日)「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭

およびイオン社会福祉基金 福祉車両贈呈式を開催

イオンタウン株式会社（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長 加藤 久誠）は、2019年12月開店予定の「イオンタウン稲城長沼（以下、当SC）」オープンに先立ち、来る11月17日(日)に同敷地内にて「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭を開催します。

「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭は、ショッピングセンター（以下、SC）が緑につつまれ地域環境にとけ込んだ場所になること、さらに緑を育む心が日本全国へ、そして海外へと広がっていくことを願い、新設するSCの敷地内に、その地域に自生する「ふるさとの木」の苗木を、地域の皆さま約200名にご参加いただき、地域に自生する樹木を中心に、約56種1,500本を植樹します。また、グループ各社が加盟・運営するイオン社会福祉基金は、稲城市へ福祉車両を1台贈呈し、社会福祉法人「正夢の会」の送迎車両としてご利用いただきます。同日に、贈呈式を下記の通り行います。

### 記

#### ■全体概要

1. 日時 : 2019年11月17日(日)9:45~12:00(予定) ※雨天決行
2. 場所 : イオンタウン稲城長沼敷地内(住所:東京都稲城市東長沼1212-1)
3. 「イオン ふるさとの森づくり」植樹祭について

①次 第 : 10:00 主催者挨拶 イオンタウン(株)代表取締役社長 加藤 久誠  
ご来賓代表挨拶(予定)

植樹方法の説明

10:30 植樹

12:00 終了予定

- ②植樹本数 : 約1,500本(地域に自生する樹木を中心に選定)
- ③植樹種類 : 【高木種】シラカシなど【低木種】カンツバキなどを中心に計56種
4. 「福祉車両」贈呈式について(9:45~10:00)

①贈呈先 : 社会福祉法人 正夢の会

②贈呈車両 : 日産キャラバンチェアキャブ10人乗り

③贈呈者挨拶 : イオンマーケット(株) 代表取締役社長 乾 哲也

④ご出席者 : 稲城市長 高橋 勝浩 様

社会福祉法人 正夢の会 理事長 市川 宏伸 様 他

以上

## ご参考

### イオンふるさとの森づくり

「ふるさとの木」の植樹による「イオンふるさとの森づくり」は、1991年にイオンマレーシアのマラッカ店（マレーシア）からはじまり、国内では1992年4月にジャスコ新久居店（三重県）で最初の実施しています。以来今日まで継続しており、本年度には、「イオン ふるさとの森づくり」と公益財団法人イオン環境財団による植樹を通じて植えた木々は合計1,193万本（2019年2月末）を超えています。イオンは、地域の一員として緑あふれる街づくりに貢献するため、これからも木を植えてまいります。

### イオン社会福祉基金

イオン社会福祉基金は、イオングループの92社が加盟しグループの労使が協調して地域社会へ奉仕するという理念のもと、障がい者の自立と社会活動への参加を促進し、障がい者の福祉の向上に貢献することを目的に1977年9月に設立されました。同基金にはイオングループ92社、約69,000人（2019年3月現在）が加入しており、労使双方がそれぞれ従業員一人あたり毎月50円ずつ（労使合計で100円）を積み立てて運営しています。毎年、障がい者の方々の社会活動への参加支援として、イオンの従業員が手作りのイベントを開催するボランティア活動や、福祉車両の贈呈などの活動を行っています。

イオン社会福祉基金は2006年より各地の障がい者福祉施設に対し、多くの方々にご利用いただけることを願い、福祉車両を毎年寄贈しています。これまで贈呈した福祉車両はこの度を含め延べ103台となります。

### 稲城市の福祉に関する取り組み

「市民がつくる支え合いのまちづくり」をスローガンに、利用者の立場を考えた地域密着ケアの推進や、コミュニティソーシャルワークの実践を通して、行政、地域住民、社会福祉協議会等の民間団体、企業などがそれぞれの役割を果たし、積極的に参加し、みんなで支え合う地域づくりを推進しています。

### 社会福祉法人正夢の会

2002年に法人認可を受け、初年度に入所施設パサージュいなぎを立ち上げ、これまでに15拠点58事業を展開。地域で暮らす方々が自分らしくそのままに地域に在る事を目指し、一人ひとりの「心に添った支援」をモットーに歩み続けています。稲城市、多摩市、昭島市、中野区で、ライフステージに沿った支援を行っています。

#### **【本件に関するお問い合わせ先】**

イオンタウン株式会社　CC推進部　広報担当　TEL：043-212-6307